

令和3年9月9日
於
府中市立教育センター

令和3年第9回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和3年第9回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和3年9月9日(木)

午後3時00分

閉 会 令和3年9月9日(木)

午後3時29分

2 出席者

教育長 酒 井 泰 委員 日 野 佳 昭

委員 平 原 保 委員 新 島 香

3 欠席者

委員 増 渕 達 夫

4 出席説明員

教育部長 赤 岩 直 文化スポーツ部長 関 根 滋

教育部次長兼教育総務課長 文化生涯学習課 二 村 善 久

矢ヶ崎 幸 夫 文化生涯学習課長補佐 楠 本 順 子

教育部副参事兼指導室長 ふるさと文化財課長 江 口 桂

並 木 茂 男 ふるさと文化財課長補佐 桐 生 光 章

教育総務課長補佐 矢 島 彩 子 市史編さん担当主幹 英 太 郎

学校施設課長 町 井 香 スポーツ振興課長補佐 塚 本 淳

学校施設課長補佐 遠 藤 勝 久 図書館長 平 野 妙 子

学務保健課長 佐 伯 富 丈 美術館副館長 相 馬 修 央

給食センター所長 谷 本 耕 一 美術館副館長補佐 鎌 田 享

指導室主幹 目 黒 昌 大

統括指導主事 菅 原 尚 志

統括指導主事 酒 井 章

指導主事 國 廣 淨 和

指導主事 蓮 沼 喜 春

指導主事 林 由佳子

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課係長 元 田 佳奈子

教育総務課主任 徳 永 昭 子

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第35号議案

府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 市民文化の日について
- (2) プラネタリウム秋番組と宇宙わくわくイベントデーについて
- (3) 「子どもの読書月間」事業について
- (4) 企画展「動物の絵」展の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（酒井 泰君） ただいまより、令和3年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の定例会において、増淵委員が都合により欠席する旨の届出を受けておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数の出席を得ておりますので、この定例会は有効に成立いたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の教育委員の議事録署名員は、平原委員にお願いいたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（酒井 泰君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、許可いたします。

◇

◎第35号議案 府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

○教育長（酒井 泰君） 日程第3、第35号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いいたします。お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（桐生光章君） それでは、第35号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱」につきましてご説明をいたします。

府中市文化財保護審議会は、府中市文化財の保存及び活用に関する条例に基づき、教育委員会に設置する附属機関でございます。

委嘱を予定する委員の案につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

本審議会の所掌事務でございますが、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査・審議し、その結果を答申することとなっております。任期は令和3年10月1日から令和5年9月30日までの2年間、委員定数は10人以内となっております。

委員は全て再任となっておりますが、文化財の指定解除、また保存活用に対する専門的・技術的判断をしていただくことが職務であり、分野ごとの高度な専門的知識と長年の経験が必要なことから、同様の知識、経験を持つ人員の選任が難しく、今回は名簿の委員を再任させていただきたいと考えております。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（平原 保君） この10名の中で会長等については、会が発足してから互選のような形で決まってくるのでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐（桐生光章君） 第1回の審議会の際に、互選で会長、副会長を決定する予定でございます。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問はございますでしょうか。

○委員（新島 香君） 任期が2年で、今回全員再任ということで、参考にお聞きしたいのですが、最長で何期続けていらっしゃる方がいるのかを教えてください。

○ふるさと文化財課長補佐（桐生光章君） 任期が最長の方でございますが、現会長であります田中委員が13期目となっております。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問はございますか。

それでは、ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。第35号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎市民文化の日について

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡の（1）を文化生涯学習課、お願いします。

○文化生涯学習課長補佐（楠本順子君） それでは、文化生涯学習課より、お手元の資料1に基づき、「市民文化の日について」、ご報告いたします。

市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりを進めることを目的に、10月の第2日曜日を市民文化の日としております。本年は10月10日となり、昨年度に引き続き、コロナ禍の新しい日常に、感染症防止対策を行いながら文化芸術を取り入れる契機としていただくこと及び8つの文化施設がいつでも文化を発信していることを市民に周知することを目的に実施いたします。

本年度は市立図書館が開館60周年、ふるさと府中歴史館が10周年、府中の森芸術劇場が30周年に当たり、これを記念した展示や講演会を実施します。また、郷土の森博物館では当日の入場料を、美術館では10月5日から10日までの企画展常設展の観覧料を無料とするほか、期間中、キーワードラリーを実施し、オリジナル缶バッジのプレゼントを行います。なお、府中の森芸術劇場では、太鼓の生演奏に代えてDVDの上映会を行います。

報告は以上です。よろしく願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の（1）について、了承いたします。



◎プラネタリウム秋番組と宇宙わくわくイベントデーについて

○教育長（酒井 泰君） 報告・連絡の（2）をふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課（桐生光章君） それでは、ふるさと文化財課から資料2に基づき、「プラネタリウム秋番組と宇宙わくわくイベントデーについて」、ご報告をいたします。

プラネタリウムでは、博物館本館の天井改修工事に伴い、8月31日から11月30日まで日曜・祝日のみの投影となってしまいますが、本日は、11月28日日曜日までを投影期

間とする秋の番組をご案内いたします。今回の秋番組からの新作でございますが、2019年に放映しました生解説プラネタリウム星空世界旅行が新ツアーとして帰ってきました。今回はオーストラリア、南極、北極の星空を巡りましたが、今回は古代文明や世界の名所の満天の星を楽しめる内容になっております。解説員が添乗員となり、世界各地の星空を解説いたします。ぜひご体験いただければと存じます。

次の資料をご覧ください。9月から行われる宇宙わくわくイベントデーの第2弾のご紹介です。プラネタリウムの投影に制限がかかる8月31日から11月30日までの毎週土曜日に「府中で宇宙を感じよう！」と題して、ワークショップや太陽観望会を実施いたします。緊急事態宣言中につきましては、基本、予定しているイベントは中止とさせていただきますが、ワークショップでは、光のひみつを探る工作・実験や、星座早見盤や天体望遠鏡の作成などを行います。少人数での実施とはなりますが、ぜひ多くの方々にご来場いただきたく、広くご案内をさせていただいております。

プラネタリウムでは、観覧中のマスクの着用、定員の半減、座席の抗菌処理を実施するなど、徹底した感染防止対策を実施しております。ぜひご来館くださいますよう、ご案内を申しあげます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

○委員（新島 香君） 感想ですけれども、毎回、郷土の森博物館におけるこうしたイベントに関しては、ユーモアがあり、見に行きたいな、行ってみたいなと思うようなチラシやPRがあって、とてもいいなと思っています。私は近くに住んでおりますので、週末などもあの界隈を移動したりするのですが、駐車場にも車がたくさん止まっており、来場される方がたくさんいらっしゃるということを府中市民としてとてもうれしく思います。引き続き、子供たちも大人も楽しめる内容で実施していただけたらうれしいなと思います。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（平原 保君） 非常に魅力的なプログラムを組まれていて、学校の教育としてもこれまで活用されてきています。今はコロナ禍でなかなか学校の教育活動にも制約があると思いますが、プラネタリウムの小学校の学習活動での利用状況はいかがでしょうか。

○ふるさと文化財課（桐生光章君） 現在、近々の日程においては、投影の予約が入っているのは、12月2日からとなっております。

○委員（平原 保君） 分かりました。早くこのコロナが解消して、大変優れた施設ですので有効活用できることを願っています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の（2）について、了承いたします。



◎「子どもの読書月間」事業について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡の（3）を図書館、お願いいたします。

○図書館長（平野妙子君） それでは、図書館から、資料3に基づき、「子どもの読書月間事業について」、ご報告いたします。

本市では、第4期府中市子ども読書活動推進計画におきまして、毎年10月を子どもの読

書月間と定め様々な事業を行っており、その取組についてご報告いたします。

初めに、資料の「みんなに読書のよろこびを」をご覧ください。子ども読書活動推進計画の目標の一つでございます、子供と本との出会いの機会の提供の中で障害のある子供の読書活動について推進しております。その取組の一つとして、子どもの読書月間では、例年、心身障害者福祉センターきずなにて絵本の展示をしておりましたが、感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、2枚目の紹介チラシに記載のとおり、9月17日金曜日から中央図書館3階において特集展示を開催いたします。

A4版の資料にお戻りいただきまして、通常の活字による読書が困難な子供でも楽しめる布の絵本や触る絵本、易しい文章で書かれているLLブックに加え、読み書きに困難を抱える子供たちに関する資料や学習支援に関する資料も展示いたします。布の絵本や触る絵本につきましては、手指からの感染症対策として、こちらも前後は館内に設置している消毒液の利用や手洗いをするよう周知を徹底してまいります。なお、資料は障害のある方だけでなく、どなたでもご利用いただけます。委員の皆様にはぜひご覧いただきたく、ご案内申し上げます。

続きまして、紫色のチラシ「小学生のためのブックトーク よむよむ探検隊」をご覧ください。中央図書館では、小学校4年生から6年生を対象に、毎回違うテーマで集めた本を紹介するブックトークを開催しております。今回の日時は、市民文化の日当日の10月10日曜日、午後3時から3時45分まで、会場は中央図書館3階児童室内おはなしのへやで開催いたします。今回は「なんかようかい?怪しいモノたちの世界」をテーマに様々な本をご紹介します。また、今後につきましても、11月27日土曜日及び12月25日土曜日にそれぞれ異なるテーマで開催いたします。事前の申込みは不要といたしますが、感染症拡大防止対策を講じて実施いたします。

なお、市民への周知につきましては、10月1日号の広報ふちゅう及び図書館ホームページへの掲載、また児童・生徒向けには市立小学校へのチラシの配付などを校長会を通じて周知を図ってまいります。報告は以上でございます。

○教育長(酒井 泰君) 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(新島 香君) 2枚目の資料の特集展示について、期間が限られている中で展示をしているようですが、これは常設で置いてほしいというようなご希望はないでしょうか。また、そういうことが今後可能なのか、併せて教えてください。

○図書館長(平野妙子君) このたびは、子どもの読書月間ということで特集棚に設置をいたしますが、通常、ハンディキャップサービスのコーナーにも展示しておりますし、また布の絵本等は児童コーナーで随時見られるような状況で設置しておりますので、そちらのご案内もしてまいりたいと考えております。

○教育長(酒井 泰君) ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。それでは、報告・連絡の(3)について了承いたします。



◎企画展「動物の絵」展の開催について

○教育長(酒井 泰君) 続きまして、報告・連絡の(4)を美術館、お願いします。

○美術館副館長補佐(鎌田 享君) それでは、お手元の資料に基づき、美術館の次回展覧

会についてご報告をいたします。

府中市美術館では、9月18日土曜日から11月28日日曜日まで、開館20周年記念の企画展「動物の絵 日本とヨーロッパ」を開催します。この展覧会は昨年実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期して開催するものです。観覧料などは記載のとおりですが、市内小中学生は学びのパスポートの提示により無料となります。

日本では、古くから動物を取り上げた絵画が数多く描かれ、人々に親しまれてきました。この展覧会では、これらの作品をふしぎ、かわいい、へそまがりといった視点を交えながら紹介していきます。さらに、ヨーロッパで描かれた動物絵画を展示することで、日本と西洋、それぞれの表現や文化の違いをご覧ください。今年、美術館が最も力を注いでいる企画であり、多くの市民の方々にご満足いただけることと存じます。なお、企画展の会期中、常設展示室ではコレクション名品選と題して、府中市美術館の所蔵品より特に人気の高い作品を展示いたします。

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行った上で開催いたしますので、ぜひご覧くださいませようご案内申し上げます。以上でございます。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の（4）について、了承いたします。



◎その他

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第5、その他ですが、何かございますでしょうか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況については、別紙の「令和3年第9回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」とおりでございます。なお、この報告書は令和3年8月14日から令和3年9月3日までの活動内容となっております。

私から、これ以外のことについてご報告をさせていただきたいと思っております。

8月20日金曜日の午前中に府中市で行われましたパラリンピック聖火採火式、8月23日月曜日、午後に行われましたパラリンピック聖火リレー点火セレモニーに参加してまいりました。8月24日から9月5日にわたりパラリンピックが開催されました。様々な競技におけるパラリンピアン達の活躍を児童・生徒たちはテレビ等で観戦したことと思っておりますが、障害の理解にとどまらず、共生社会の実現の大切さなど、多くのことを学ぶ機会となったと思っております。長年取り組んできましたオリンピック・パラリンピック教育のまとめをきちんと行い、何を具体的にレガシーとして残していくのかという次の段階に入ったと思っております。なお、今回のパラリンピックの開会式で国旗入場の先導役の一人として、府中第二中学校の生徒会長が参加いたしましたことをご紹介させていただきます。

次に、8月27日から2学期が始まりました。授業をはじめとする教育活動の開始に当たっては、感染力の強い変異株を想定し、これまで以上に距離を取ること、マスクを正しく装着し、感染防止の効果が高いとされる不織布マスクを推奨することなどを学校に指示してい

るところです。

今学期、実施を予定している小学校の運動会等については、従来の種目にこだわらず、密にならないよう十分に配慮したプログラムとすることに加え、残念ながら保護者、地域の皆様の参加を控えていただくこととしております。学校では、後日、録画した映像を保護者会で視聴する機会を設定したり、視聴できる範囲を限定した学校ホームページ内でのリモート中継などを計画しています。保護者の皆様には楽しみにされている行事ですので、誠に申し訳ないことと思っておりますが、ご理解、ご協力をいただきたいと思います。

最後ですが、今後、感染状況がさらに厳しいものとなった場合に、学級閉鎖や学年閉鎖、学校閉鎖等の対応を取らざるを得ない状況もあることを想定しまして、既に配付しております一人1台タブレットを使ったリモート学習が実施できるよう、学校には準備を進めてもらっています。ただし、通常、学校があるときに実施している全ての指導をリモートで行うことを想定しているのではなく、リモートでできる学習を工夫しながら取り組むもので、リモートを活用し、児童・生徒の学びを止めないということに主眼を置いた対応としてまいりたいと思っております。

私からは以上ですが、追加でご報告をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、要望書を頂いております。府中市議会議員結城亮氏より「市立小・中学校における夏季休業日の延長および2学期開始時期への対応に関する緊急要望書」、日本共産党府中市議団より「新型コロナウイルス感染症拡大に対する取組の強化を求める緊急要望」、新日本婦人の会府中支部より「新型コロナウイルス感染症に関する公的な援助を強めることを求める要請」を頂きましたことをご報告いたします。教育委員の皆様へ情報提供させていただきました。以上です。



◎教育委員報告

○教育長（酒井 泰君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については、別紙のとおりでございます。

まず日野委員、お願いいたします。

○委員（日野佳昭君） 新型コロナウイルス感染症について、現在の府中市において、私が把握している状況を報告いたします。新型コロナウイルス感染者数は、全国的に減少傾向ですが、小児の症例はやや増加しております。基幹病院は逼迫が続いています。各病院での状況に収束の兆しは見られません。多摩総合医療センターでは、180名のコロナ患者さんが入院し、うち人工呼吸器を使用しているのは20名、エクモを使用している患者さんは5名いるそうです。市内では、自宅療養者が多く、家庭内感染が増え、家族全員の感染も珍しくありません。子供からの感染も見られるようになってきました。部活動、塾、学童、保育所など、密の生活から感染します。子供たちは症状が軽く、病院でも風邪と判断されることも多いようです。医師会では、現在、個別・集団ワクチン接種への執務、コロナ患者さんの診察・検査、自宅療養者の経過観察、宿泊療養施設、酸素ステーションへの人員派遣等を行っております。冬季に想定しておかなければならない第6波への体制をつくらなければいけません。また、今年はインフルエンザにも注意が必要です。

オンライン授業が開催されるということです。学級閉鎖、コロナ感染に伴い、休まなけれ

ばならない児童・生徒の学習の保障に早く利用できるとよいと思います。もともと日本では、Wi-Fi環境がよいとは言えず、テレワークの普及等により利用者が増加し、つながりにくいという問題点もあります。オンライン授業での学習個別最適化に加え、習熟度の把握も忘れてはいけないと思います。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、平原委員、お願いいたします。

○委員（平原 保君） 先日、文部科学省から5月に実施した全国学力調査の結果が公表されました。その結果から、私が着目した児童・生徒質問紙の項目について、報告させていただきます。

「学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」、これは小中学生への質問紙で、今回新たに加えられた質問です。この質問に、全国の小学6年生、約100万人ですが、そのうち94.5%、そして中学2年生は93.2%が肯定的に回答しています。いずれも非常に高い割合だと思います。ICT環境の整備が進められ、児童・生徒が学習の中でICT機器を活用することで利便性や学習効果を感じている表れであり、今後への期待が込められた回答結果だと推察しています。

今、府中市では児童・生徒が学習の中でICTを活用する授業づくりが進められています。さらに、分散登校や学級・学校閉鎖などの実施に備え、タブレット端末を活用した学校と家庭とをオンラインで接続する試行について準備を進めています。児童・生徒及び保護者の思いや期待に応えられるようにICT活用を推進していくことが重要だと考えています。

一方の質問で、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」という質問があります。このゲームの時間と教科の平均正答率のクロス集計から、小・中学校ともに1日当たりのテレビゲームの時間が増えれば増えるほど、教科の平均正答率は低い傾向があることが把握できます。このことは、これまでも指摘されてきたことですが、こうした結果を基にして、児童・生徒の指導や助言、家庭への啓発活動が必要だと感じています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、新島委員、お願いいたします。

○委員（新島 香君） 2学期が始まりまして2週間がたちました。懸念されていた児童・生徒の感染については、幸いにも学級閉鎖や学校閉鎖に至るまでの状況は起きておりませんが、ご家族の感染により濃厚接触者として自宅待機となってしまいうケースが目立ってきており、自宅にいながらリモートで授業を受けられる体制づくりは、今お話があったとおりの急務だと思います。ICT支援員さんなどの協力を得ながら、タブレット端末をフル活用し、学校に来られなくても授業を受けられる状況を早急に整えていかなければならないと思います。

また、2学期は多くの宿泊を含む行事が予定されております。その時々々の感染状況により、できるかできないかの判断が必要になりますが、様々な工夫を凝らし、柔軟に選択、対応ができるよう先生方を支援できたらと思います。

学校では、机上での学びが基本になりますが、そこでは得られない学びが体験的学習には

期待されます。大人がここを学んでほしいと道筋を立てても、子供たちはその時の体験をそれぞれの感性や視点で多様に学びます。その学びがどんなものでも、その子自身の成長に影響を及ぼすものとなります。どんなことも学びにつながる成長期の子供たちにとっての貴重な機会は、その学校、そのクラス、その子の状況に応じて様々な選択ができるよう、教育委員会としては大きな目と大きな心で見たいと思います。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございました。

それでは、これで令和3年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後3時29分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

令和3年11月18日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

平原 保